

平成30年度 只見ユネスコエコパーク活動支援補助金実績

事業種目	件数	補助金交付事業名	申請者	事業内容	個別評価等
持続可能な地域社会経済の発展事業 (只見ユネスコエコパークの伝統的な生活文化の継承・発展、地場産業の育成を目的とした取り組みを支援する。)	2件	薪割機械（エンジン式） 購入運用事業	只見町森林組合 代表理事組合長 鈴木章一	薪割機（エンジン式）を購入し、森林整備の際に出る林地残材や林道整備の際に出る支障木等を活用した薪材生産、販売を行う。	永続的に事業継続が可能な団体への新生産事業に対するの補助であり、地域資源の持続可能な活用や地域内の低炭素社会の実現へ貢献することが期待される。
		民芸品の品質の向上 (特にブドウ皮)	明和民芸品保存会 会長 齋藤文良	つる細工の品質の向上のため、三島町から講師の先生を呼び、全3回の講習を実施。ブドウ皮の採取の仕方から下準備の加工方法、編み方等を実践しながら学び、技術の向上を図った。	同保存会ではすでにクルミ細工及びヒロロ細工が「自然首都・只見」伝承産品に認定されており、ブドウ皮細工はそれに次ぐ伝承産品の認定候補である。今後、伝承産品ブランドの認証を受け、地域資源の活用や伝統技術の復活・継承、ブランドを活用した地場産業の発展、只見町のPRに貢献することが期待される。
「自然首都・只見」伝承産品ブランド化支援事業 (伝承産品の振興に必要な取り組みのうち、伝承産品の技術伝承、品質、販売情報価値（パッケージデザイン、広告イメージ）を向上させることを目的とした取り組みを支援する。)	2件	赤石（鉄石英） のアクセサリー	ピ・ピリカ 代表 三瓶彰治	只見町で昔から親しまれてきた赤石を利用したアクセサリーの商品化を行うため、赤石を加工するための加工用品を購入した。また、パッケージ作成を行った。	町の関連施設で販売されることで、地域資源の活用や伝統技術の復活・継承、ブランドを活用した地場産業の発展、只見町のPRに貢献することが期待される。 (なお、令和元年7月に「自然首都・只見」伝承産品に認定された。)
		只見に伝わる 「手毬（てんまり）」 製作の技術の伝承	ちよの会 代表 渡部ヨリ子	只見町の伝統的な手毬を製作し販売することで技術の伝承を行う。平成30年度は技術習得のため、手毬作成に必要な道具・材料を購入した。次年度に商品化を予定。	「自然首都・只見」伝承産品の認定商品の候補であり、今後、商品化し伝承産品ブランドの認証を受けることで、地域資源の活用や伝統技術の復活・継承、ブランドを活用した地場産業の発展、只見町のPRに貢献することが期待される。